

(品目別需給編)

1 小麦

(1)国際的な小麦需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 前月比

- ・ロシア等で上方修正も、EU 等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

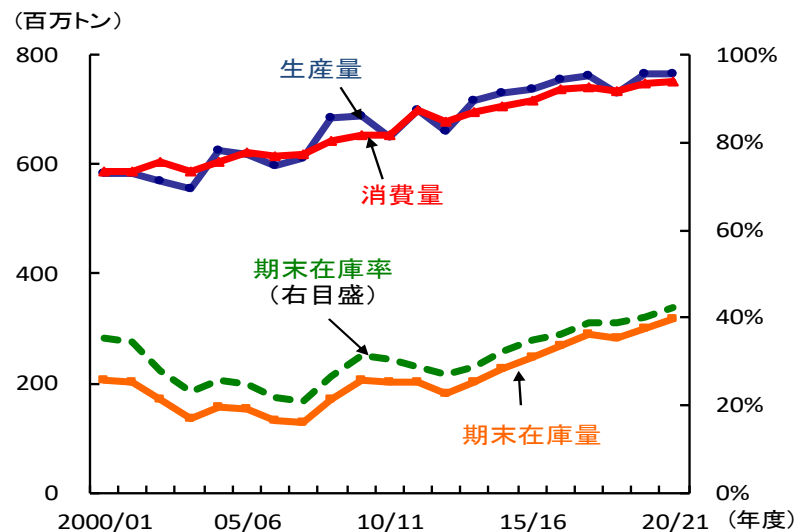
消費量 前年度比 前月比

- ・イラン等で上方修正も、EU 等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 前月比

- ・ロシア等で上方修正も、EU 等で下方修正され、前月から僅かに下方修正された。

期末在庫量 前年度比 前月比



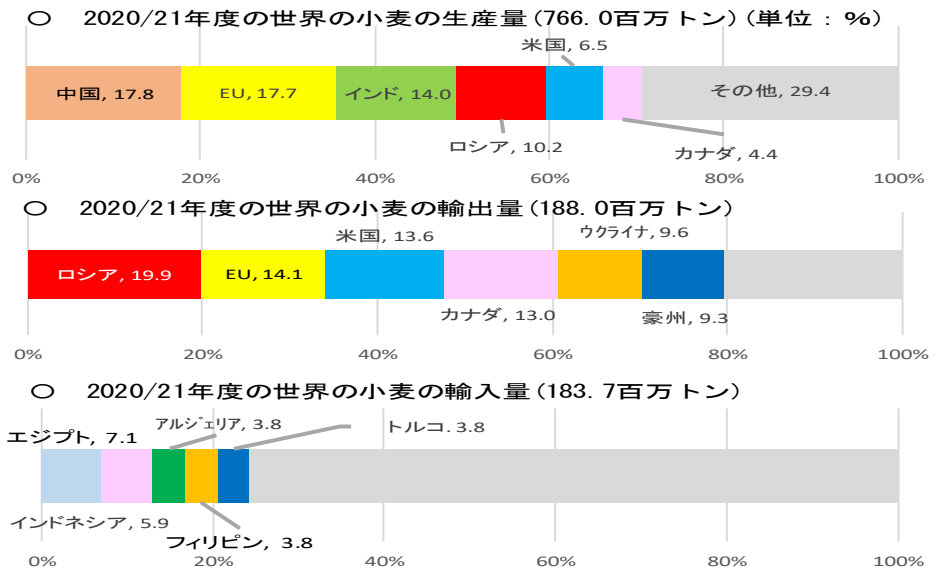
資料：USDA 「PS&D」(2020. 8. 12) をもとに農林水産省で作成

◎世界の小麦需給

(単位：百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	731.0	764.1	766.0	▲ 3.3	0.3
消費量	735.2	747.2	750.1	▲ 1.5	0.4
うち飼料用	139.5	139.3	133.8	▲ 1.3	▲ 3.9
輸出量	173.6	190.0	188.0	▲ 0.0	▲ 1.1
輸入量	170.7	184.9	183.7	0.5	▲ 0.6
期末在庫量	283.9	300.9	316.8	2.0	5.3
期末在庫率	38.6%	40.3%	42.2%	0.3	2.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」 (12 August 2020)



(2) 国別の小麦の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省(USDA)「Crop Progress」(2020.8.17)によれば、8月16日時点の主要18州の冬小麦の収穫が終盤を迎えた。収穫進捗率は、93%と前年度同期の92%を上回っているものの、過去5年平均(96%)を下回っている。また、同時点の主要6州の春小麦の収穫が開始された。収穫進捗率は30%と、前年度同期の14%を上回るものの、過去5年平均(43%)を下回っている。作柄評価は良～やや良が70%と前週から1ポイント上昇し、前年度同期と同ポイントとなっている。

2020/21年度の生産量は、前月予測に比べ0.4百万トン上方修正され、50.0百万トンと、前年度を4.3%下回る見込み。

そのうち、冬小麦は、単収の低下により、前月に比べ0.5百万トン下方修正され、32.6百万トンとなり、前年度(35.5百万トン)を下回る見込み。また、春小麦は、単収の上昇により、前月に比べ0.7百万トン上方修正され15.7百万トンとなり、前年度(15.3百万トン)を上回る見込み。デュラム小麦は、単収の上昇により、前月に比べ0.2百万トン上方修正され、1.7百万トンとなり、前年度(1.5百万トン)を上回る見込み。

なお、米国の小麦収穫面積は減少傾向にある。背景には、旧ソ連諸国等の増産による世界的な需給の緩和が考えられる。

【貿易情報・その他】輸出量は、価格競争力の上昇とEU等の輸出主要国の生産量の減少により、前月に比べ0.7百万トン上方修正され26.5百万トンの見込み。

小麦輸入量が世界第1位となった北アフリカ地域で、EUの輸出量が減少し、同地域への米国の輸出機会が増加すると見られている。

6月の小麦輸出検証高は265.2万トン。輸出シェアは、中国(35.9万トン)が17.2%で第1位を占めており、次いで、フィリピン14.4%、日本13.4%の順。米中間貿易交渉の第1次合意の履行に向けて、中国向け輸出量が増加している。

小麦－米国（冬小麦が全体の7割、春小麦は3割）

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	51.3	52.3	50.0	0.4	▲4.3
消費量	30.0	29.8	30.2	▲0.1	1.4
うち飼料用	2.4	2.0	2.5	-	23.1
輸出量	25.5	26.3	26.5	0.7	1.0
輸入量	3.7	2.9	3.5	▲0.3	23.8
期末在庫量	29.4	28.4	25.2	▲0.5	▲11.3
期末在庫率	53.0%	50.6%	44.4%	▲1.3	▲6.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.03	15.04	14.84	-	▲1.3
単収(t/ha)	3.20	3.47	3.37	0.03	▲2.9

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)

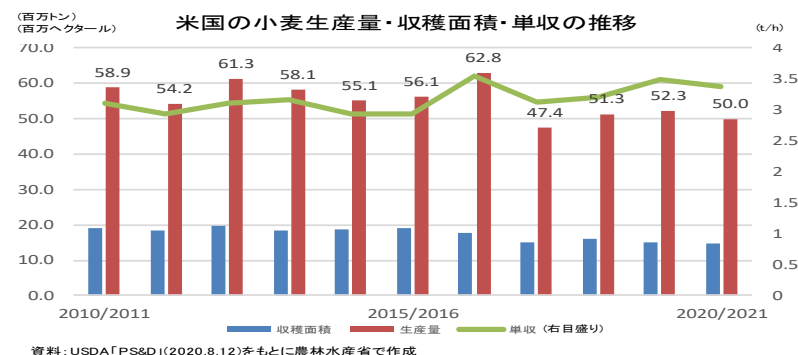


表 米国の小麦輸出先国別輸出量(輸出検証高)

(万トン)

2020年6月			2020年1月～6月		
国名	検証高	シェア(%)	国名	累積検証高	シェア(%)
中国	35.9	17.2	フィリピン	199.0	13.0
フィリピン	30.2	14.4	メキシコ	181.3	12.4
日本	28.0	13.4	日本	158.9	10.5
メキシコ	23.8	11.4	韓国	87.4	6.3
韓国	19.2	9.2	中国	87.0	5.6
その他	128.1	34.4	その他	827.2	52.1
合計	265.2	100.0	合計	1,540.8	100.0

注1. 7月の輸出検証高は、7月9、16、23、30日及び8月6日の合計値。

注2. 累積輸出検証高は、2020年1月2日～8月6日の合計。

資料: USDA Federal Grain Inspection Services Yearly Export Grain Totals(2020年8月13日)より作成。

< カナダ >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は前月予測からの変更はなく34.0百万トンの見込み。7月は平原三州の春作物には概ね良好な天候であった。

カナダの各地方政府によれば、小麦生産量の10%を占める冬小麦の収穫進捗率は、サスカチュワン州で19%、マニトバ州で45%。なお、春小麦の収穫が8月半ばに開始された。また、アルバータ州の小麦の作柄(良～やや良)は、春小麦が80.1%、デュラム小麦が86.6%、冬小麦が86.1%である。

【貿易情報・その他】USDAによれば、輸出量は前月予測からの変更はなく、24.5百万トンの見込み。カナダ穀物委員会(Canadian Grain Commission)によれば、2019/20年度(2019年8月～2020年6月)の輸出量累計は6月末現在、普通小麦が1,584.5万トン。国別には、インドネシアが190.2万トン(12.0%)、日本が163.5万トン(10.3%)、中国が142.5万トン(9.0%)の順。デュラム小麦は、462.4万トンで、国別には、イタリアが102.0万トン(22.1%)、トルコが97.9万トン(21.2%)の順。

< 豪州 >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の前月予測からの変更はなく、26.0百万トンの見込み。7月は、NSW州(※)で平均以上の降雨で小麦の生育が進んだものの、WA州や、SA州、QLD州で乾燥天候が作物の生育に影響を与えた。しかし、8月に入り、NSW州に加え、WA州、SA州等の小麦生産地の大部分でも降雨に恵まれ、土壌水分量が改善され生育が進んだ。

WA州穀物協会(GIWA)「Crop Report」(2020.8.14)によれば、8月7日から9日の降雨により、同州の小麦生産量は、8.89百万トンの見込み(豪州農業資源経済科学局(ABARES)の6月予測は8.6百万トン)。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく17.5百万トンで、前年度に比べ大幅に増加し、中国、東南アジア市場での輸出シェアを回復させる見込み。

小麦－カナダ(春小麦を主に栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	32.2	32.4	34.0 (33.6)	-	5.1
消費量	9.0	9.9	9.7 (9.2)	▲ 0.1	▲ 2.0
うち飼料用	4.0	4.8	4.5 (4.6)	▲ 0.1	▲ 6.3
輸出量	24.4	23.9	24.5 (24.1)	-	2.5
輸入量	0.5	0.7	0.5 (0.2)	-	▲ 33.8
期末在庫量	6.0	5.3	5.5 (6.4)	▲ 0.1	4.8
期末在庫率	18.1%	15.6%	16.1% (19.2%)	▲ 0.2	0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	9.88	9.66	9.80 (9.90)	-	1.4
単収(t/ha)	3.26	3.35	3.47 (3.39)	-	3.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
AAFC 「Outlook For Principal Field Crops」(17 July 2020)

小麦－豪州(冬小麦を主に栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	17.6	15.2	26.0 (26.2)	-	71.1
消費量	9.2	8.4	7.0 (7.4)	▲ 0.0	▲ 16.7
うち飼料用	5.7	4.9	3.5 (3.7)	-	▲ 28.6
輸出量	9.0	9.5	17.5 (16.7)	-	84.2
輸入量	0.5	0.8	0.2 (0.2)	-	▲ 73.3
期末在庫量	5.4	3.5	5.2 (5.9)	-	48.7
期末在庫率	29.9%	19.5%	21.2% (24.4%)	0.0	1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)※	10.40	10.20	13.00 (13.0)	-	27.5
単収(t/ha)	1.69	1.49	2.00 (2.02)	-	34.2

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
IGC 「Grain Market Report」(23 July 2020)

(※)NSW州: ニューサウスウェールズ州 WA州: ウェスタンオーストラリア州
QLD州: クイーンズランド州 SA州: サウスオーストラリア州

< EU > (英国を含む)

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、昨秋の播種時期の降雨過多や今春の欧州大陸の厳しい干ばつによる収穫面積の減少や単収の低下から、前月予測に比べ、4.0百万トン下方修正され、135.5百万トンとなる見込み。

各国別には、前月予測に比べ、フランスは播種時の土壌水分過多による収穫面積の減少から2.0百万トン、ドイツは乾燥天候による単収の低下から0.8百万トン、ルーマニア、ブルガリアは乾燥天候により計1.0百万トン下方修正された。なお、フランスの収穫面積は、1994/95年度以来最低となる見込み。

EU委員会「Crop Development Stage」(2020.7.31)によれば、生育は特にフランス中部、ドイツの大部分で例年に比べ進んでおり、7月末に完熟期を迎えた。

英国農業園芸開発公社(AHDB)「Harvest Progress in Great Britain」(2020.8.14)によれば、8月中旬現在、収穫が進んでおり、英国の収穫進捗率は43%となった。

また、フランスアグリメール(2020.8.13)によれば、フランスの収穫はほぼ終了した。なお、8月6日現在のフランス産小麦の作柄評価は、普通小麦の「良～とても良い」の割合が、前月より1%増加し56%となったものの、前年度(73%)を下回り、また、デュラム小麦の「良～とても良い」の割合は、前月と変わらず62%で、前年度の73%を下回った。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、生産量の減少により前月予測から1.5百万トン下方修正され、25.5百万トンの見込み。

フランスの輸出量は、2019/20年度の2,300万トンに比べ、大幅に少ない1,300～1,500万トンとなる見通し。

7月の輸出価格は、ドイツ、フランスで生産量の減少見込みから、6月末の208ドル/トンからわずかに上昇し、216ドル/トン(8月10日現在)。

小麦—EU (冬小麦を主に栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	136.7	154.9	135.5 (123.8)	▲ 4.0	▲ 12.5
消費量	121.1	122.5	117.3 (106.1)	▲ 1.0	▲ 4.2
うち飼料用	51.5	52.5	47.5 (41.9)	▲ 1.0	▲ 9.5
輸 出 量	23.3	38.0	25.5 (26.3)	▲ 1.5	▲ 32.9
輸 入 量	5.8	4.9	5.5 (6.5)	-	12.2
期末在庫量	16.0	15.4	13.6 (7.4)	2.0	▲ 11.7
期末在庫率	11.1%	9.6%	9.5% (5.6%)	1.6	▲ 0.1

(参考)

収穫面積(百万ha)	25.52	26.14	24.75 (23.08)	▲ 0.50	▲ 5.3
単収(t/ha)	5.36	5.93	5.47 (5.37)	▲ 0.05	▲ 7.8

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
USDA 「PS&D」 (12 August 2020) 表内のデータはEU27+英国
EU 「Balance Sheets For Cereals」 (30 July 2020)、()内のデータはEU27ヶ国

2020年6月のEU(27ヶ国)の普通小麦の輸出国、輸出先国

輸出国	輸出量	シェア(%)	輸入国	輸入量	シェア(%)
フランス	120.3	42.4	アルジェリア	57.2	20.2
ドイツ	55.0	19.4	サウジアラビア	38.1	13.4
ポーランド	38.2	13.5	中国	17.9	6.3
ルーマニア	36.1	12.7	フィリピン	13.9	4.9
ブルガリア	11.4	4.0	イラン	13.8	4.9
その他	22.5	7.9	その他	142.6	50.3
合 計	283.5	100.0	合 計	283.5	100.0

2020年6月のEU(27ヶ国)のデュラム小麦の輸出国、輸出先国

輸出国	輸出量	シェア(%)	輸入国	輸入量	シェア(%)
スペイン	3.4	47.2	チュニジア	1.6	22.2
フランス	2.6	36.1	リビア	1.1	15.3
イタリア	0.5	6.9	マリ	0.9	12.5
ドイツ	0.3	4.2	コートジボワール	0.6	8.3
デンマーク	0.1	1.4	スイス	0.6	8.3
その他	0.3	4.2	その他	2.4	33.3
合 計	7.2	100.0	合 計	7.2	100.0

輸出量、輸入量は万トン

資料: 欧州委員会「EU Cereals export and impor」(2020.7.15)をもとに農林水産省で作成

< 中国 >

【生育・生産状況】中国気象台によれば、8月7日現在、大部分の地区で冬小麦の収穫は終了し、春小麦は青海、河北北部で開花期、黒竜江省北部、新疆北部と東部等で登熟・乳熟期に入っている。

中国糧油情報センター(2020.8.3)によれば、2020/21 年度の小麦の生産量は、前月予測からの変更はなく、134.0 百万トンの見込み。種類別の内訳は、冬小麦、春小麦とも前月予測からの変更はなく、それぞれ 126.6 百万トン、7.4 百万トンの見込み。

なお、冬小麦の収穫がすでに終了していたため、6月以降の長江流域での洪水による被害はなかったと見られている。

【貿易情報・その他】中国農産品供需形勢分析月報(7月)によれば、とうもろこし価格の上昇を受け、国内卸売価格は上昇した。種類別には、普通小麦が対前年同月比 3.2%上昇の 2,300 元/トン、高品質小麦が同 1.8%上昇の 2,580 元/トン。

中国糧油情報センターによれば、とうもろこし価格が高水準を維持している一方、新穀小麦の価格は相対的に安価で、飼料用需要がとうもろこしから小麦にシフトしているため、2020/21 年度の消費量は、前月予測に比べ 2.5 百万トン上方修正され、127.3 百万トンとなる見込み。また、輸入量は米国等からの輸入が増加することから、前月に比べ 1.0 百万トン上方修正され 6.0 百万トンとなる見込み。

中国海関統計によれば、2020 年 1 月から 6 月の小麦の輸入量計は、前年同期に比べ 1.96 倍の 320.2 万トン。内訳は、2019 年に 73.6%を占めていたカナダが 21.6%に減少し、フランスが 32.5%、豪州が 27.6%と増加した。

中国とフランス間の昨年 11 月の 150 億ドルの貿易協定締結が、フランスからの輸入量増加の要因のひとつと見られる。

また、米国からの輸入量は、1月から4月まではなかったが、5月、6月に合計 23.5 万トン輸入された。中国で生産される小麦のほとんどが中間質小麦のため、輸入される小麦は硬質小麦と軟質小麦であり、用途は食用とみられる。

小麦—中国（冬小麦を主に栽培）

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() は IGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	131.4	133.6	136.0 (135.0)	-	1.8
消 費 量	125.0	126.0	130.0 (131.2)	-	3.2
うち飼料用	20.0	19.0	20.0 (21.0)	-	5.3
輸 出 量	1.0	1.1	1.0 (1.2)	-	▲ 4.8
輸 入 量	3.2	5.4	6.0 (5.4)	-	11.5
期末在庫量	139.8	151.7	162.7 (137.9)	0.5	7.3
期末在庫率	110.9%	119.4%	124.2% (104.2%)	0.4	4.8

(参考)

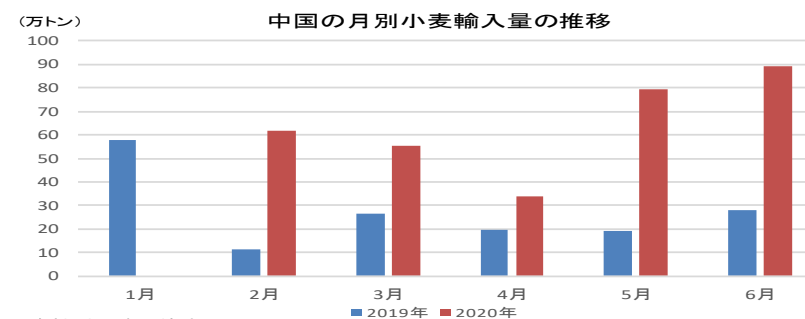
収穫面積(百万ha)	24.27	23.73	24.00 (23.8)	-	1.1
単収(t/ha)	5.42	5.63	5.67 (5.68)	-	0.7

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
IGC 「Grain Market Report」(23 July 2020)

表 中国の小麦輸入量、輸入先国シェア

	2019年1月～2019年6月			2020年1月～2020年6月		
	国名	輸入量 (万トン)	輸入量シェア (%)	国名	輸入量 (万トン)	輸入量シェア (%)
1	カナダ	119.8	73.6	フランス	104.0	32.5
2	カザフスタン	19.8	12.2	豪州	88.3	27.6
3	フランス	13.1	8.1	カナダ	69.3	21.6
4	米国	4.2	2.6	米国	23.5	7.3
5	豪州	3.9	2.4	リトアニア	19.7	6.2
6	その他	1.9	1.2	その他	15.4	4.8
計		162.7	100.0	計	320.2	100.0

出典: 中国海関統計(2020.7.25)をもとに農林水産省で作成



資料: 中国海関統計(2020.7.25)

注: 2020年の2月の輸入量は、2020年1月と2020年2月の合計値

< ロシア >

【生育・生産状況】ロシア農業省によれば、8月17日時点のロシア全土の小麦の収穫済面積は17.3百万ヘクタールで、収穫進捗率は58.8%。収穫量は63.0百万トン、単収は3.64トン/ヘクタールである。

7月の管区別の生育状況は、ロシア気象センターによれば、ロシア・ヨーロッパ部(※)北部の中央連邦管区、沿ボルガ連邦管区等で収穫が進展し、中央連邦管区では収穫進捗率が71.7%に達した。また、南部の北カフカス連邦管区、南連邦管区では収穫進捗率が95%を超え、収穫がほぼ終了している。

ロシア・アジア部(※)西部のウラル連邦管区、シベリア連邦管区では春小麦が登熟期から完熟期を迎え、冬小麦は収穫が開始された。極東連邦管区では早植えの春小麦が完熟期を迎え、7月末に収穫が始まった。作柄は概ね良好であるが、一部地域では大雨の影響で土壌水分過多となっている。

ロシア国営「ロシア農業センター」のサンプル調査によれば、8月8日時点で収穫された小麦(9.4百万トン)の品質は、1等は0.0%、2等は33.1%、3等は42.9%、4等は24.0%で、1から4等の比率(76%)は前年同日の79.9%を下回っている。

USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測から1.5百万トン上方修正され、78.0百万トンの見込み。内訳は、冬小麦が前月から2.0百万トン上方修正され58.0百万トン、春小麦は0.5百万トン下方修正され20.0百万トン。

【貿易情報・その他】USDAによれば、生産量の増加により2020/21年度の輸出量は前月から1.5百万トン上方修正され、37.5百万トンの見込み。同年度は、EU等の輸出量の減少により、国際市場でのロシアの価格競争力が高まる見込み。なお、現地情報によれば、7月に黒海経由でブラジルに初めて小麦が輸出された。

ロシアの2019/20年度(2019.7~2020.6)の輸出量は3,362.6万トン。その内訳は、トルコ23.6%、エジプト18.5%、バングラデシュ6.8%である。

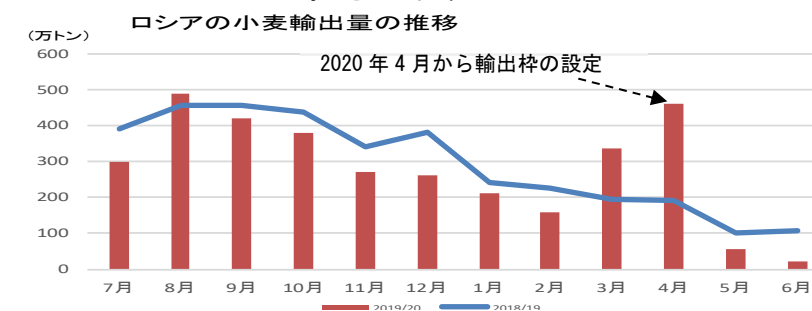
※ ロシア・ヨーロッパ部：中央、北西、沿ボルガ、南、北カフカス連邦管区 ロシア・アジア部：ウラル、シベリア、極東連邦管区

小麦ーロシア(主産地の欧州部で冬小麦、シベリアで春小麦を栽培)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	71.7	73.6	78.0 (78.0)	1.5	6.0
消費量	40.5	40.0	40.5 (41.2)	-	1.3
うち飼料用	18.0	17.0	17.5 (18.2)	-	2.9
輸 出 量	35.9	34.2	37.5 (37.1)	1.5	9.5
輸 入 量	0.5	0.3	0.5 (0.3)	-	51.5
期末在庫量	7.8	7.5	8.0 (9.0)	0.2	6.7
期末在庫率	10.2%	10.1%	10.2% (11.5%)	0.1	0.2

(参考)
 収穫面積(百万ha) 26.34 27.31 28.30 (27.9)
 単収(t/ha) 2.72 2.70 2.76 (2.80)
 資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
 「World Agricultural Production」(12 August 2020)
 IGC 「Grain Market Report」(23 July 2020)



資料: 税関統計をもとに農林水産省で作成、ユーラシア経済同盟加盟国への輸出も含む(2020.8.7)

表 ロシアの小麦輸出先国(シェア)

	2020年6月			2019年7月~2020年6月		
	国 名	輸出量 (万トン)	輸出シェア (%)	国 名	輸出量 (万トン)	輸出シェア (%)
1	サウジアラビア	6.2	28.7	トルコ	794.2	23.6
2	トルコ	3.7	17.0	エジプト	623.1	18.5
3	カザフスタン	3.6	16.8	バングラデシュ	229.8	6.8
4	ナイジェリア	2.9	13.3	アゼルバイジャン	131.5	3.9
5	ジョージア	1.4	6.7	スーダン	114.3	3.4
6	その他	3.8	17.5	その他	1,469.7	43.7
計		21.5	100.0		3,362.6	100.0

資料: ロシア税関統計をもとに農林水産省で作成

2 とうもろこし

(1) 国際的なとうもろこし需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・EU等で下方修正も、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

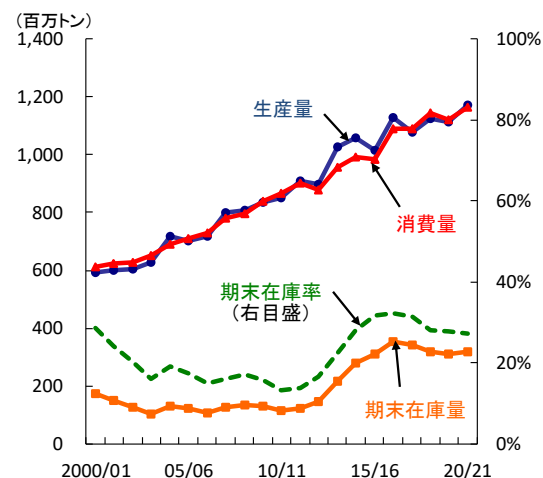
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・EU、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

- ・EUで下方修正も、米国等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 ↑ 前月比 ↑



資料：USDA「PS&D」（2020. 8. 12）をもとに農林水産省にて作成

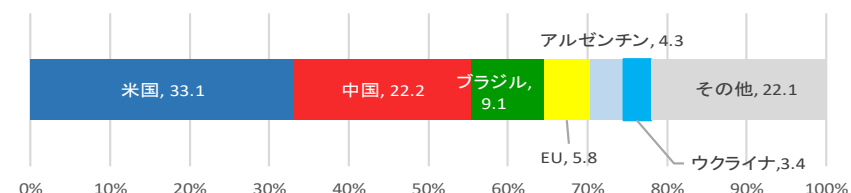
◎世界のとうもろこし需給

(単位:百万トン)

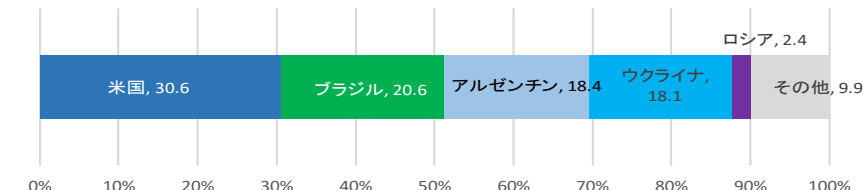
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	1,123.5	1,112.4	1,171.0	7.8	5.3
消 費 量	1,144.5	1,121.2	1,164.9	4.8	3.9
うち飼料用	703.0	705.8	732.0	4.4	3.7
輸 出 量	181.1	171.2	184.7	2.2	7.8
輸 入 量	162.9	168.5	178.9	2.1	6.2
期末在庫量	320.1	311.3	317.5	2.4	2.0
期末在庫率	28.0%	27.8%	27.3%	0.1	▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(12 August 2020)

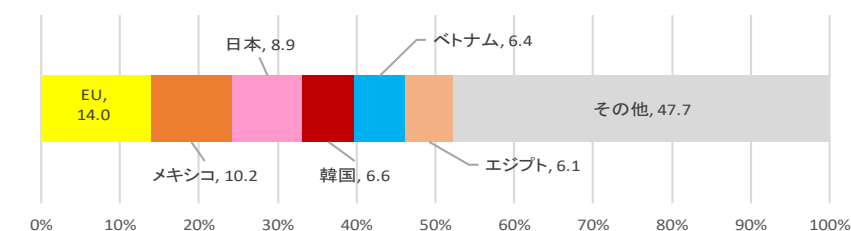
○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの生産量(1,171.0百万トン) (単位: %)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸出量(184.7百万トン)



○ 2020/21 年度 世界のとうもろこしの輸入量(178.9百万トン)



(2) 国別のとうもろこしの需給動向

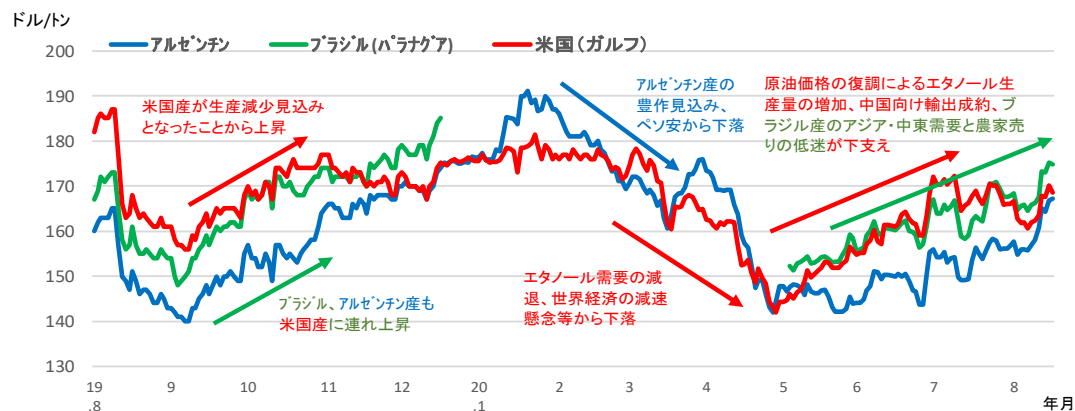
< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によれば、2020/21年度の生産量は、受粉期を含む生育期を通し天候に恵まれ単収が史上最高へ上方修正されたことから、前月から7.1百万トン上方修正され、前年度より12.2%増の388.1百万トンの見込み。「Crop Progress」（2020.8.17）によれば、天候に恵まれたことから、8月16日現在でデント率は23%と、過去5年平均（24%）は下回ったものの、前年度同期（13%）より進んでいる。作柄評価は、良からやや良が69%と前年度同期（56%）を上回っている。なお、8月中旬に中西部で発生した暴風雨（Derecho）の影響は9月以降の需給報告に反映されるとみられる。

【需要動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測から1.9百万トン上方修正され、飼料用需要の増加とともに、前年度の新型コロナウイルスの感染拡大による需要落ち込みの回復からエタノール用需要も増加し、前年度より5.8%増の318.8百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、順調な販売成約と価格競争力の改善から前月から1.9百万トン上方修正され、前年度より23.9%増の56.5百万トンの見込み。なお、輸出検証高（2020年1月2日～8月6日）は、30.6百万トンであり、内訳はメキシコ（8.7百万トン）、日本（7.7百万トン）の順である。

図：米国、ブラジル、アルゼンチンのとうもろこし輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成。

とうもろこし—米国

(単位:百万トン)

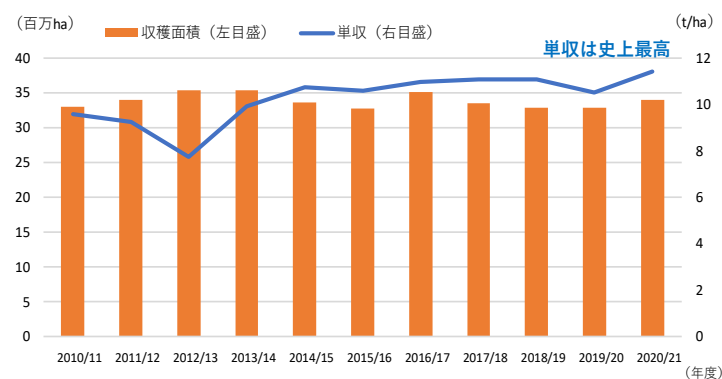
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測からの変更	対前年度増減率(%)
生産量	364.3	345.9	388.1	7.1	12.2
消費量	310.5	301.3	318.8	1.9	5.8
うち飼料用	137.9	142.3	150.5	1.9	5.8
エタノール用等	136.6	123.2	132.1	-	7.2
輸出量	52.5	45.6	56.5	1.9	23.9
輸入量	0.7	1.1	0.6	-	▲ 43.9
期末在庫量	56.4	56.6	70.0	2.8	23.7
期末在庫率	15.5%	16.3%	18.7%	0.5	2.3

(参考)

収穫面積(百万ha)	32.89	32.91	34.00	-	3.3
単収(t/ha)	11.07	10.51	11.41	0.20	8.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)

図：米国産とうもろこしの単収・収穫面積の推移



資料：USDA「PS&D」(2020.8.12)をもとに農林水産省にて作成

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より5.9%増の107.0百万トンの見込み。

なお、ブラジル食料供給公社(Conab)月例報告(2020.8.11)によれば、2019/20年度の収穫が終了した夏とうもろこしの生産量は、前年度比0.2%増の25.7百万トンの見込み。一方、大豆収穫後に作付けされ、収穫終盤の冬とうもろこしの生産量は、主産地のマトグロッソ州等での作付面積の増加により前年度より2.8%増の76.5百万トンが見込まれ、合計では102.1百万トンと史上最高の見込み。(P.18 大豆—ブラジルのクロップカレンダー参照)。

冬とうもろこしの収穫は8月14日現在で主産地のマトグロッソ州でほぼ終了している。また、南部のパラナ州の収穫率は8月10日現在で51%となっている。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度と同じ68.0百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より11.8%増の38.0百万トンの見込み。輸出シェアは世界第2位を維持。(図参照)。一方、輸入量は1.5百万トンの見込み。

ブラジル貿易統計によれば、2020年1～7月の累計輸出量は7.4百万トンで、収穫が例年より早かった前年度と比べ49%減となっている。内訳は、1位が台湾で111万トン、2位がイランで111万トンとなっている。8月以降、冬とうもろこしの収穫に伴い、輸出量が増加するとみられる。

写真：中西部マトグロッソ州の
冬とうもろこし収穫風景
(7月31日撮影)
周辺の圃場はすでに収穫終了



とうもろこし—ブラジル

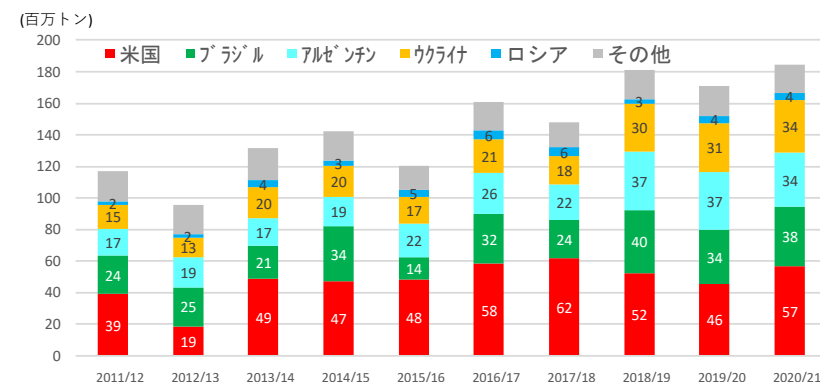
(大豆収穫後に栽培する冬とうもろこしが7割を占め、夏とうもろこしは3割)

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	101.0	101.0	107.0 (106.3)	-	5.9	
消 費 量	67.0	68.0	68.0 (70.5)	-	-	
うち飼料用	57.0	58.0	58.0 (54.0)	-	-	
輸 出 量	39.7	34.0	38.0 (36.0)	-	11.8	
輸 入 量	1.7	1.2	1.5 (0.8)	-	25.0	
期末在庫量	5.3	5.5	8.0 (5.9)	-	45.5	
期末在庫率	5.0%	5.4%	7.5% (5.6%)	-	2.2	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	17.50	18.40	18.90 (18.80)	-	2.7	
単収(t/ha)	5.77	5.49	5.66 (5.65)	-	3.1	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
IGC「Grain Market Report」(23 July 2020)

図：世界のとうもろこし輸出国の輸出量の推移



資料：USDA「PS&D」(2020.8.12)のデータをもとに農林水産省にて作成。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度と同じ 50.0 百万トンの見込み。

なお、「ブエノスアイレス穀物取引所週報」（2020.7.30）によれば、2019/20 年度の収穫率は 97.4%。生産量は 50.0 百万トン(2018/19 年度 50.6 百万トン)の見込み。収穫作業は 8 月にほぼ終了した。

【貿易情報・その他】USDA によれば、2020/21 年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より 8.1%減の 34.0 百万トン(2018/19 年度 37.0 百万トン)の見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2020 年 1～6 月の輸出量は 20.0 百万トンで、前年同期より 17%増。内訳は、1 位がベトナム 4.3 百万トン、2 位がエジプト 2.7 百万トン、3 位がアルジェリア 1.8 百万トン。なお、アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019 年 12 月 14 日、輸出税を約 7%から 12%へ引き上げた。

< 中国 >

【生育・生産状況】USDA によれば、2020/21 年度の生産量は、前年度より 0.3%減の 260.0 百万トン(2018/19 年度 260.3 百万トン)の見込み。中国国家糧油情報センター（2020.8.3）によれば、7 月の産地の東北部の天候は少雨傾向で、一部は干ばつとなったものの、8 月上旬の降雨により影響は緩和された。8 月上旬現在、東北部の春とうもろこしはシルキング期に入っている。

【需給状況】USDA によれば、2020/21 年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、ASF と新型コロナ以前の需要レベルに回復することから、前年度より 1.1%増の 277.0 百万トン(2018/19 年度 275.9 百万トン)の見込み。

【貿易情報・その他】米中通商摩擦の影響から 2018 年 7 月から米国産とうもろこし輸入には 25%の追加関税が賦課されていたが、中国財政部は、2020 年 2 月 18 日、輸入業者向けに追加関税の免除措置の手続きを公表した。

中国の貿易統計によれば、2020 年 1～6 月の輸入量は 366 万トンで、前年同期より 18%増。主にウクライナ産 342 万トン（93%）が占めている。農業農村部「農産品供需形勢分析月報 7 月号」によると、国内の飼料用需要の増加に伴い、7 月の国内流通価格は継続して上昇した。

とうもろこしーアルゼンチン

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	51.0	50.0	50.0 (52.1)	-	-
消 費 量	13.8	13.5	15.0 (21.1)	-	11.1
うち飼料用	9.7	9.5	11.0 (16.5)	-	15.8
輸 出 量	37.2	37.0	34.0 (31.0)	-	▲ 8.1
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
期末在庫量	2.4	1.9	2.9 (3.2)	-	54.0
期末在庫率	4.6%	3.7%	5.9% (6.1%)	-	2.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.10	6.20	6.20 (7.10)	-	-
単収(t/ha)	8.36	8.06	8.06 (7.34)	-	-

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
IGC 「Grain Market Report」(23 July 2020)

とうもろこしー中国

(単位:百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、() はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	257.3	260.8	260.0 (261.0)	-	▲ 0.3
消 費 量	274.0	274.0	277.0 (287.2)	-	1.1
うち飼料用	191.0	189.0	190.0 (180.0)	-	0.5
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	-
輸 入 量	4.5	7.0	7.0 (7.0)	-	-
期末在庫量	210.3	204.1	194.1 (172.2)	-	▲ 4.9
期末在庫率	76.8%	74.5%	70.0% (60.0%)	-	▲ 4.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	42.13	41.28	42.00 (41.76)	-	1.7
単収(t/ha)	6.11	6.32	6.19 (6.25)	-	▲ 2.1

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 August 2020)
IGC 「Grain Market Report」(23 July 2020)